

VOGUE

1
January
2005
No. 10

特別付録
Y680

ヴォーグ ニュース

プレコレクションで、
着回しレッスン!

クリスティー・ターリントンの
“美しく生きる100カ条”。
ハリ・コレで見つけた、
エディターが愛用するこなし術。
ファッション
モンブランのセレブな生活。

My Destiny

運命は、私がつかむ!

2005年を占う鍵は“人間関係”

マドンナが名前を変えたワケ!?

セレブがはまるカバウって何?

最後はみんな、シャネル・ジャケット。

モードなヘアは「シルエット」勝負!

特別付録
\$10,000
以下で見よ
最新ジュエリー

132

US Top 10 Doctors

全米 TOP10・ドクターズ。

今アメリカで美容医療のトップに君臨するのは誰？

世界中を見渡しても、美容医療への意識と技術がここまで発達している国はアメリカをおいてない。この国ではセレブも一般人も老いも若さも、美しくなりたいという願望を叶えようと、驚くほど容易にクリニックを訪れる。一部の女性の救世主である一方で、社会問題でもある美容医療。このただならぬ現状を探るべく、その功罪の一端を担う全米トップクラスの皮膚科医、整形外科医 10 人をレポートした。

Photos: Mike Nogami (N.Y.), Izak Pitman (L.A.)
Text: Masako Nishio, Nancy Fukuzaki (L.A.) Editor: Naho Sasaki



Dr. Daniel Baker

Dr. ダニエル・ベイカー
整形外科医



Dr. Steven Hoefflin

Dr. スティーヴン・ホフリン
整形外科医

Dr. Brent Molelleken

Dr. ブレント・モレレケン
整形外科医



Dr. Sherrell Aston

Dr. シェレル・アストン
整形外科医



Dr. Frederic Brandt

Dr. フレデリック・ブランド
皮膚科医

B20

Dr. Karyn Grossman

Dr. カリン・グロスマン
皮膚科医



米国美容医療 NOW

ボトックスがFDA(アメリカ食品医薬品局)認可
 となってから、ボトックス人口が急増するなか、アメ
 リカでは09年だけで13万人がフェイスリフトも、25万人
 が豊胸手術も、32万人の人がリフトアップ(顔彫り)も
 受けている。30歳手近まるあたりから、花嫁のための結婚や
 出産も、童の誕生日の準備まで受ける時代がやって来たかのよ
 うだ。クリスマスパーティーに誘われて鼻の手術を受けに行く
 チョーンも多いが、アメリカでは美容医療が盛んすぎるだけ
 の期間よりもうに過ぎ去った模様。一方で、04年初頭には著
 名女優小泉が手術中の麻酔ミスで亡くなった。髪毛トウ
 ターによる手術で患者が死亡したショッキングな事件も発
 生し、米ウェブでも取り上げられている。英とエイ
 ジングはすべての女性の関心事。そのエキスクリ
 ームにある美容医療は、社会的な問題に
 まで昇れないのが実情だ。



Dr. Alan Gold

Dr. アラン・ゴールド
髪形外科医

Dr. Alan Matarasso

Dr. アラン・マタラソ
髪形外科医



Dr. Bruce Katz

Dr. ブルース・カッツ
皮膚科医



Dr. Stephen Colen

Dr. スティーブン・コーレン
髪形外科医

B 29

フェイスリフトのエンペラー、ここにあり。

Dr. Sherrell Aston

Dr. シェレル・アストン/整形外科医



(左) アンチエイジングの効果を期待した豪華なオフィス。右見せできないのは残念だが、受付嬢は全員英米。(右) 美容整形外科クリニック、パーファクシオニーは伊勢丹に近接する。手前はドクターが治療を待てる広くの待合室だ。●728 Park Ave., New York, NY 10022-4400



NY美容整形界の皇帝、ナンバーワン・フェイスリフターと言え、この人の右に出る者はないと言われているのがドクター・アストン。NYの美容整形医館として最悪の設備を誇る病院の会館を築くなど、豪邸についているばかりでなく、技術面でも上成組織や筋肉を絶妙なバランスで引っ張るなど、そのリフトテクニックは天才的と評されている。また「患者さんがハッピーになっ

てくれることだけを、ひたすらに願っています」という謙虚なキャラも、彼をトップの座にした大きな理由だろう。年間の手術は750件とボトックスを患者に打つひまもないくらい多く、フェイスリフトは業界最高の\$25,000という高単価だが、彼の手術を心待ちにする患者で数ヶ月のウェディングができて、完璧主義者のアナ・ウィンターが返りにドクターを頼んだのも納得。

832

Plastic Surgeons

整形外科医

長期的な副作用や死亡事故の発生など、まだまだ取り組むべき課題が多い美容整形。有名セレブや文化人もずらずで顔を差し出す、極悪中の極悪である3人を紹介しよう。

エンタメ界を制したドクター・ハリウッド。

Dr. Brent Molelleken

Dr. ブレント・モレルケン/整形外科医



(左) 最新の設備は大手を誇るにも引けを知らない。500坪を超えるドクターの広さしつオアシスなクリニックの Dermatology は、オンラインでも購入可。●120 South Spaulding Dr., Ste. 340, Beverly Hills ●1-310-272-1601 www.drbrant.com

セレブの整形外科医として『エキストリーム・メイクオーバー』(右ページコラム参照)にも出演し、全米から注目を浴びるモレルケンはややかな笑顔が印象的なハリウッド・ドクター。真実が人気テレビ番組『エキストラ』のメインホストを務めていることも手伝い、セレブの患者も多数。整形手術後の回復時はベニンシュアホテルに宿泊。なんてセレブ客も多いとか。特にアカデミー

賞など大きな授賞式前、クリニックは多忙を極める。ボトックスなどの即効の施術ができるメディアスバも完備しているからだ。ドクターいわく「オスカー女優でも、保みは一般人と同じ」。ステージでは自信満々に見える女優も、彼の前では自信喪失がみの顔み多き患者になると言う。最近の傾向はナチュラルで、グウィネス・パルトロウやニコール・キッドマンの目や鼻が人気だそう。

